

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	すばるホール	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	公益財団法人 富田林市文化振興事業団		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 4 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a
	3 地域との交流が図られている。	a	a
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	a	a
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	a	a
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	b	b
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	a	a
	9 苦情への対応が適切である。	a	a
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	b	b
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
	13 自主事業の実施状況が適切である。	a	a
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
	16 年度収支計画と比較して本経費が妥当である。	a	a
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	a	a
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	a	a
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a

		自己	担当課
その他	24 市民参加型事業開催回数が要求水準に達している。	b	b

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

改善要求点	対応及び評価
ア 稼働率の低い施設については、直接利用者の声を聴くなど、利用者ニーズの把握に努めてください。利用改善にあたっては、事業内容の効果を検証し、より効果的かつ効率的な取り組みを進めていくためにも、取組の創意工夫がわかるような計画や報告の作成に努めてください。	新型コロナウイルス感染症対策、庁舎移転計画に伴う貸館の制限などの影響により、稼働率が伸びていない施設がある。今回、研修室(清光の間)については、改善計画のとおり進められており、工夫は見られる。他の施設においても、さらなる工夫を進め、効果検証を行い、改善の取り組みを進めていってほしい。
イ 研修を行うにあたっては、得られる成果や効果的な取り組み事例などを踏まえた研修計画を策定していただき、研修の成果を今後の事業展開に活かすことができるようにしてください。	指定管理者職員としての研修、すばるホール職員としての研修など、区分けをして様々な研修計画を策定し、eラーニングやオンライン研修など、新しい研修も取り入れて行っている。受講した職員が講師となって、他の職員と共有するなど、さらなる工夫を行い、今後の事業展開に活かしてほしい。
ウ	

⑤評価者コメント

指定管理者	今期においても新型コロナウイルスによる貸館利用への影響は大きく、利用団体の活動停止、解散等から利用ニーズの落ち込みが見られる。また、市庁舎仮移転では銀河の間等において10月以降貸出停止(相当の期間において7月以降の貸出も制限した経緯あり)としており、さらに一時期においては2階3階フロアが移転対象となっていたことから、定期的な利用が他館へ移った事も貸館収入減少の一因となっている。現在、レストランの閉店(庁舎利用の可能性から募集停止中)をカバーすべく、イベント時にはキッチンカーなどの出店も行うなど新たな発想や手法にも取り組んでいる。また、事業においては市民参加型をカバーする形で鑑賞型を行ったこと(一部は市民参加も組み入れ)、さらに自費で鑑賞者のニーズを考慮した催しの選択が事業収入の向上につながった。今後は庁舎移転が本格化する中、庁舎機能と一般利用の調整が大きな負担となることも考えられるが、移転してくる100名を超える市職員への事業周知や参加の呼びかけなども念頭に、可能な限りプラス方向へと転換を図り、文化芸術の振興を今以上に推進したい。
施設所管課	新型コロナウイルスによる影響もやや落ち着いてはきたが、庁舎の一部が移転することになり、銀河の間が貸出停止や2階3階フロアも影響を受けた期間があるなどにより、貸館運営の難しさがあり、貸館収入減少の一因となっていることは否めない状況である。その中において、文化事業については、市民活動団体等の活動を支援する事業展開や学校との連携、アウトリーチ事業など、独自の活動展開を行っていることは評価できる。また、施設管理運営については、従来通り、要求水準には達しており、今後も継続を期待する。

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)	【千円】					
	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	209,001,000	209,001,000	208,641,000	199,342,192	209,350,000	209,350,000
利用料金	58,600,000	28,478,542	51,756,000	49,926,679	51,000,000	44,114,164

2. 要求事項

ホール・展示室・レセプションホール 稼働率 【対前年比1%増(参考:平成27~29年度 平均稼働率48.0%)】		
要求水準	49.9	%
目標	49.0	%
実績	38.5	%

⇒③評価項目7と関連

市民参加型事業開催回数 【5種類 20回以上】		
要求水準	5種類	20 回
目標	5種類	20 回
実績	5種類	20 回

⇒③評価項目24と関連

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	富田林市市民会館	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	株式会社 アクティオ		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 4 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

	自己	担当課	
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a
	3 地域との交流が図られている。	a	a
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	a	a
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	a	a
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	b	b
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	a	a
	9 苦情への対応が適切である。	a	a
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	b	b
	13 自主事業の実施状況が適切である。	a	a
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	b	b
	15 本経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
	16 年度収支計画と比較して本経費が妥当である。	a	a
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	a	a
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

改善要求点	対応及び評価
ア 苦情要望について、時系列としてデータをまとめられています。類型別に整理することで、原因を分析し、複数の問題を解消できる場合もありますので、今後の苦情対応や報告書作成に活かしてください。	類型別で整理された報告書により、幅広い苦情・要望について、より見やすくなっています。原因の分析にも役立つと思いますので、引き続き現在の様式で作成をお願いします。
イ 研修の実施にあたっては、待遇等の基本的な研修と、LGBTやSDGsのように新たな分野に対応する研修をバランスよく実施することが必要と考えます。対面による研修を中心に実施されていますが、今後は、リモート研修や動画研修といった新たな研修手法を取り入れるなど、研修計画を工夫してください。	待遇等の基本的な研修に加え、オンライン講習を積極的に活用して、バランスのよい研修実施が認められます。今後は対面研修、オンライン研修、双方のメリットを活かしつつ、量質ともに効果的な研修計画を立てるようにしてください。
ウ	

⑤評価者コメント

指定管理者	<p>・利用者様はコロナ前はあるものの利用には慎重で会食なども警戒し、例年の大型イベントの利用も回復には至っておりません。コロナ前にはまだまだ程遠い利用となっております。また、世界情勢の影響から水道光熱費が高騰し、サービスとして行っていた室内灯利用30分前からの点灯を利用者様に協力いただく事や後に冷暖房のオンオフも協力いただくに至り経費削減のご協力とご理解を得ております。</p> <p>・自主事業においても入場無料イベント(こども祭り)を完全入替制の有料化(金券付)とし、運用の見直しを行っております。これにより入場者管理がスムーズになり警備や安全強化が可能となっております。</p> <p>・施設備品においては冷暖房機器の老朽化により修繕(部品供給不可)が各階で10月に同時多発(計8室)、それにより利用者様には更なる大きな施設への移動を余儀なくされ大変ご迷惑をおかけしております。幸い、利用不可能になるには至っておりませんが、直近の故障に利用者様負担とは出来かねる為、自館負担で経費増加となっております。また、経年劣化により電球交換時には機器が劣化破損する場合があります。応急的な50万以下の修繕の為、既存機器本体をLED機器に更新修繕しております。昭和50年竣工時からの機器が多く老朽化が懸念されております。</p> <p>・勤務体制に関しては賃金上昇により非常勤の勤務体制を見直し工夫しており、全体研修の機会が取りにくい状況となっておりますが、オンライン講習にて各自が実施。マルチワーク体制と勤務歴の長い地域職員によって支えられ、スムーズな運営が実現できたと考えます。</p>
施設所管課	令和4年度はコロナ禍からある程度落ち着きを取り戻したものの、会食や大型イベントが行えるほどの環境にはなかったため、コロナ前ほどの回復には至りませんでした。燃料費の高騰による光熱費の増加により、利用者への節電の協力要請もみられました。また、人件費の高騰については、勤務体制の見直しや研修への参加方法の工夫がみられました。施設老朽化により修繕箇所も多く、特に空調設備について不具合が多く発生しており、利用者への対応が難しい場面も多々ありました。そのような中でも利用者サービスの質を極力落とさないような努力が認められ、適正な管理運営が行われていると思われます。

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)

	【千円】					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	57,731	57,731	58,116	58,116	58,446	58,446
利用料金	19,830	11,664	16,351	11,863	15,238	16,044

2. 要求事項

市民センター 稼働率 【対前年比1%増(参考:平成27~29年度 平均稼働率67.50%)】	
要求水準	70.2 %
目標	70.2 %
実績	67.5 %

⇒③評価項目7と関連

市民コミュニティの醸成	
目標	市民団体・地域団体等との連携事業の展開

⇒③評価項目3と関連

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	富田林市民総合体育館他21施設および富田林市立総合スポーツ公園	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	ミズノグループ		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 4 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a
	3 地域との交流が図られている。	b	b
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	a	a
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	c	c
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	a	b
	9 苦情への対応が適切である。	a	a
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
	13 自主事業の実施状況が適切である。	b	b
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	c	c
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	b	b
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	施設の利用に関し、一部の団体による不公平な実態があるため、平等な利用が確保されるよう改善に向け、対応されたい。	改善すべき内容について担当課と協議を重ね、不適切に複数枚の利用カードを取得した団体をリストアップした上で、当該団体に対して利用カード枚数の適正化について協力を求めた。各団体に対し、粘り強く協力を求めることで、最終的には各団体とも適切な利用カード枚数となり、不平等な状態が改善されたため、非常に高く評価できる。
イ	個人情報の保護について、教育DVDや講義による職員への意識づけにとどまらず、ロールプレイング形式で行い、適切な対応ができていないかを確認するなど、より効果的な形で研修を行っていくよう工夫をしていただきたい。	保管場所・保管ルール、データベースへの入力など、実際に行っている業務に対し、グループ単位で検証を行い適切に対応できているかの確認が実施された。ただ、確認にとどまらず、ロールプレイング形式で実際の対応を体験するなど、もう一歩踏み込んだ形での研修の実施を求める。
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	コロナウイルス感染症もある程度収束し、お客様の意識も変化中、安心してご利用いただけるよう感染対策を行い、安全・安心な施設運営に取り組めたと思います。また、年度末にはLED改修工事での休館また青少年スポーツホールの臨時休館もあり利用できない期間もありましたが、多くのイベント情報を積極的に発信するなど、新たな情報発信ツールを構築し利用者促進・満足向上に取り組めたこと実感しております。今後もより多くのお客様が安心・安全にご利用いただける施設運営に取り組んでまいります。
施設所管課	コロナウイルス感染症も多少収束したものの、引き続き感染症対策を要し、また、利用者の動向もつかめないう状態でのスタートであったが、指定管理者による柔軟かつ臨機応変な対応によりスムーズな管理運営がなされたものと評価できる。利用者数・率ともに目標率に達してはいるが、コロナ感染症による利用者の意識変化や施設工事等、外部的な要因が大きかったため、令和5年度においては、安全安心な管理運営を引き続き実施するとともに、利用者数・率の増加につながる運営がなされるものと期待する。

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)	【千円】					
	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	97,900	97,900	97,900	97,900	97,900	97,900
利用料金	32,920	25,360	31,730	27,057	32,863	29,276

2. 要求事項

市民総合体育館 稼働率	
要求水準	63.03 %
目標	65.58 %
実績	64.78 %

→③評価項目7と関連

青少年スポーツホール 稼働率		
要求水準	66.57	%
目 標	67.9	%
実 績	51	%

→③評価項目7と関連

津々山台第2テニスコート 稼働率		
要求水準	35.10	%
目 標	35.45	%
実 績	28.1	%

→③評価項目7と関連

中野テニスコート 稼働率		
要求水準	19.39	%
目 標	19.57	%
実 績	13.62	%

→③評価項目7と関連

総合スポーツ公園 多目的グラウンド(全面) 稼働率		
要求水準	42.04	%
目 標	42.46	%
実 績	20.4	%

→③評価項目7と関連

総合スポーツ公園 野球場 稼働率		
要求水準	68.96	%
目 標	69.65	%
実 績	79.2	%

→③評価項目7と関連

総合スポーツ公園 テニスコート 稼働率		
要求水準	57.37	%
目 標	58.51	%
実 績	64.4	%

→③評価項目7と関連

●指定管理者業務評価シート(5年目評価)

施設名	富田林市民プール	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	オーエンスグループ共同事業体		
指定期間(年度)	平成30年度 ~ 令和4年度	評価対象年度	令和 4 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a
	3 地域との交流が図られている。	a	a
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	a	a
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	b
	9 苦情への対応が適切である。	b	b
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	b	b
自主事業	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
収支計画	13 自主事業の実施状況が適切である。	a	a
	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	a	a
	15 本経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	d	d
人員配置計画	16 年度収支計画と比較して本経費が妥当である。	a	a
	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	a	a
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a

④改善要求点(4年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア		
イ		
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	・令和4年度は、当施設がリニューアルオープンし8年目(第2期5年目)となりました。市民の皆様にも認知されてきた中で、新型コロナウイルス感染対策に伴い、令和2・3年度は営業を行わず閉場となりました。今年度は利用者の減少を見込んでいましたが、予想を遥かに超える利用者の方々にご利用頂きました。目標利用者数13,200人に対して15,564人と目標を上回る結果となっております。
施設所管課	令和4年度は新型コロナウイルスへの対策を踏まえながら、3年ぶりの開場となりました。業務実施にあたっては利用時間の制限や利用者入れ替え制、体温計、アルコール消毒の実施等、担当課と協議・協力しながら様々な感染症対策を施し、利用者に安心して楽しんでもらえるように様々な工夫がなされておりました。そのため、開場期間中には大きなトラブルもなく、利用者数も目標を上回っており、予想を上回る良い結果になったものと考えます。

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)

	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	5,165,450	3,350,119	3,674,580	3,674,580	16,972,000	16,972,000
利用料金	0	0	0	0	1,400,000	1,692,150

2. 要求事項

利用者数 (※自主事業として開場する期間を除く)	
要求水準	18,000人
目標	13,200人
実績	15,564人

→③評価項目7と相互

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	富田林市立総合福祉会館	施設所管課	増進型地域福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 4 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	b	b
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	b	b
	3 地域との交流が図られている。	a	b
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	c
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	a	b
	9 苦情への対応が適切である。	b	b
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
	13 自主事業の実施状況が適切である。	b	b
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
	16 年度収支計画と比較して本経費が妥当である。	a	a
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	b	b
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	b	b
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	24 教室・講座の年間参加人数が要求水準に達している	d	b

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

		改善要求点	対応及び評価
ア	全職員が専門的知識を持ち同様の対応ができることが望ましいことから、オンライン研修については携わる全職員が受講するなど、受講体制について検討してください。	ウェブ研修の活用により、複数名での受講に努められました。より多くの職員が積極的なスキルアップを図ることができる体制について、改善いただけたと評価しています。	
イ			
ウ			

⑤評価者コメント

指定管理者	コロナ対策として貸館の人数制限等を実施した結果、貸館・来場者数・講座受講者数及び浴場利用者数の目標数値を若干下回りました。しかし、感染対策のもと4年ぶりに「囲碁・将棋大会」、「文化祭」を開催したほか、台風により中止となった「敬老の日イベント」の代替企画として「映画鑑賞会」の開催、また、利用者参加型の新たな企画として「季節を感じるイベント」を行うなど、利用満足度向上に積極的に取り組みました。また、ホームページで貸館利用状況を閲覧できるようにすることで利用者の利便性向上に努めたほか、新規講座としてニュースポーツ「ポッチャ講座」やひとり親家庭の親と子で参加できる講座を実施するなど、新たな利用者層獲得に積極的に取り組みました。
施設所管課	コロナ関係による施設利用への影響から回復途上ではあるが、貸館・来場者数及び浴場利用者数は目標数値を下回った。一方で教室・講座の年間参加人数について、コロナ禍前に作成した要求水準の値を上回ったことは評価できるものである。浴場の利用促進については、前年から引き続き、全面清掃や企画湯などを行った。新規講座としてニュースポーツ「ポッチャ講座」やひとり親家庭向け講座(キャンドル作り・親子ヨガ)を実施するなど、新たな企画に意欲的に取り組まれた。4年ぶりに「文化祭」や「囲碁将棋大会」を開催することができたことは、アフターコロナへの明るい話題である。

[参考]

		【千円】					
1. 実績値(直近3ヶ年)		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料		50,380	50,380	50,448	50,448	51,039	51,039
利用料金		1,305	650	1,048	746	1,052	918

2. 要求事項

貸館 年間利用者数	
要求水準	45,000 人
目標	36,400 人
実績	30,622 人

→③評価項目7と相関

浴場 年間利用者数		
要求水準	13,000	人
目 標	10,520	人
実 績	9,213	人

➡③評価項目7と関連

教室・講座の年間参加人数		
要求水準	2,500	人
目 標	2,800	人
実 績	2,799	人

➡③評価項目24と関連

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	富田林市立コミュニティセンター	施設所管課	増進型地域福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 4 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	b	b
	3 地域との交流が図られている。	a	a
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	b	c
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	a	a
	9 苦情への対応が適切である。	a	a
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a
自主事業	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
	13 自主事業の実施状況が適切である。	a	b
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	a	a
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	c	a
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	a	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	a	a
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	b
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	b

		自己	担当課
その他	24 世代間交流に資する事業としての年間イベント数が要求水準に達している	b	b

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	人員体制に制約されず研修機会を確保する観点から、オンライン研修の活用も含め、より多くの職員が積極的なスキルアップを図ることができる体制について検討してください。	ウェブ研修の活用により、複数名での受講に努められました。より多くの職員が積極的なスキルアップを図ることができる体制について、改善いただけたと評価しています。
イ		
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	利用促進・満足度向上策として設置した、おかしやカップ麺の自動販売機は、特に子どもたちにとっても好評です。利用者アンケート結果からも、飲食のあるイベント交流が望まれています。その要因には、数年前に近隣の店コンビニが閉店したことや、コロナ禍により制限されてきた人との交流の緩和傾向と共に、年代に問わず共食が求められていると考えます。気軽に集える場として、子どもたちや子育て世代、高齢者の生きがいづくり(活躍の場)に取り組みました。今後もニーズ把握に努め更なるコミュニティの発展をめざして参ります。
施設所管課	貸館年間利用者数については回復傾向であるが、年間目標値を下回った。コロナ後の状況を見据えて、新たな利用団体の開拓に期待したい。浴場年間利用者数については、近隣の浴場施設がなくなったことも影響していると思われるが、要求水準の数値に近い数字となったことは、良い傾向である。新たに設置された(おかし・カップ麺)の自動販売機が好評で、収益の一部は福祉事業にあてられるとのことである。自主事業では、新たな企画として「純喫茶おれんじ」の開設により、若年性認知症の理解啓発、当事者の活躍、家族同士の交流の機会を作る場とされた。

[参考]

	【千円】					
	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
1. 実績値(直近3ヶ年)						
指定管理料	41,591	41,591	41,928	41,928	41,985	41,985
利用料金	5,134	3,406	4,820	3,567	3,914	4,787

2. 要求事項

貸館 年間利用者数	
要求水準	45,000 人以上
目標	36,800 人以上
実績	35,095 人以上

➡③評価項目7と関連

浴場 年間利用者数

要求水準	18,000	人以上
目 標	13,900	人以上
実 績	17,421	人以上

→③評価項目7と関連

世代間交流に資する事業としての年間イベント数

要求水準	10	回以上
目 標	12	回以上
実 績	14	回以上

→③評価項目24と関連

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	富田林市ケアセンター	施設所管課	増進型地域福祉課
指定管理者名	ケアセンター管理運営共同事業体		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 4 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	b	b
	3 地域との交流が図られている。	b	b
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	c	c
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	a	b
	9 苦情への対応が適切である。	a	a
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
	13 自主事業の実施状況が適切である。	c	c
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	a	a
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	事業報告書について、コンプライアンス研修等、実際には実施していた研修について記載がなかったことから、実施した研修については漏れなく記載するようにしてください。	令和4年度に実施された研修については、漏れなく記載いただきました。
イ		
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	令和4年度においても、PDCAサイクルを利用した業績に対する意識を職員間で共有するといった独自の取組みを継続しました。また、老健事業においては、利用者数の目標には到達できなかったものの、新たに年間入所者数及び年間在宅復帰者数を目標に取入れ、それぞれの目標をクリアしました。これまでの取組みの成果が実を結び、第4期指定管理期間中の公社独自の成果目標として、また、その先の介護保険制度への対応を念頭として、在宅復帰・リハビリにも取り組む中で、令和4年9月に当初目標より1年半前倒しで、在宅復帰施設としての高い評価とされる在宅強化型施設へと移行を果たしました。また、ウェルネス施設利用者及び講座・教室参加者についても概ね計画値となっています。自主事業では、引き続き利用者やその家族の生活を継続する観点からも、必要な各種サービスの継続的かつ利用者に寄り添った質の高いサービスの提供に努めました。
施設所管課	老健施設については特筆すべき点として、指定管理者(福祉公社)独自の成果目標として、令和4年9月に、独自当初目標より1年半前倒しで、在宅強化型施設へと移行したことが挙げられる(在宅強化型施設になるには在宅復帰施設としての一定高い評価が必要)。通所事業・入所事業の利用人数については、目標値を下回った。ウェルネス施設年間利用者数については、年間目標値はほぼ達成だが、コロナの影響も残っており、要求水準とは大きな差がある状態となっている。一方で、講座・教室の年間参加人数は年間目標値だけでなく、要求水準も達成しており、この点は評価できるものである。

[参考]

	【千円】					
	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
1. 実績値(直近3ヶ年)						
指定管理料	124,410	124,410	126,980	126,980	131,894	131,894
利用料金	494,929	417,227	493,421	447,698	494,344	451,500

2. 要求事項

入所事業 年間利用延人数	
要求水準	25,000 人
目標	24,851 人
実績	22,498 人

→③評価項目7と相関

通所事業 年間利用延人数

要求水準	10,000	人
目 標	9,926	人
実 績	8,589	人

➡③評価項目7と関連

ウェルネス施設年間利用者

要求水準	75,000	人
目 標	65,000	人
実 績	64,673	人

➡③評価項目7と関連

講座・教室の年間参加人数

要求水準	21,000	人
目 標	17,233	人
実 績	21,009	人

➡③評価項目7と関連

●指定管理者業務評価シート(5年目評価)

施設名	観光交流施設きらめきファクトリー	施設所管課	商工観光課
指定管理者名	富田林産業文化芸術連携体		
指定期間(年度)	平成30年度 ~ 令和4年度	評価対象年度	令和 4 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	b	b
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	b	b
	3 地域との交流が図られている。	b	b
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	c	c
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	b
	9 苦情への対応が適切である。	b	b
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	b	b
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	b	b
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
	13 自主事業の実施状況が適切である。	b	b
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	c
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	b	a
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	b	b
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	24 観光資源の開発および魅力発信事業実施回数が要求水準に達している。	d	c
	25 地元産品等の売上が要求水準に達している。	b	c

④改善要求点(4年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	改善指導要求無し	
イ		
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	年間利用者数、地元産品の売上、貸し館の利用料金、イベント実施数などは要求水準には満たしていないが目標はクリアした。これは、コロナ禍3年目の今年度は、過去2年よりもコロナに対する知識と理解が浸透したことが要因と考える。今年度は、プロジェクションマッピングや、2階のバーチャル空間の作成、それを元に作成したバーチャル展示会など、時代に即したデジタル要素を含んだ新しいアプローチを実施した。これらは、きらめきファクトリーと富田林への来街者促進と認知向上のために貢献したと考える。
施設所管課	令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が残りましたが、概ね実施計画に沿った事業が実施されました。来館者数や地元産品の売上高は要求水準には届かなかったものの、コロナ禍の影響を加味した修正目標値を各項目で上回りました。また、プロジェクションマッピングやVRなど、時代に即した観光へのアプローチを行い、利用者の増加に取り組みました。指定管理者評価では、数値目標に対して「d」と評価している項目が2項目ありますが、コロナ禍の影響を考慮し、担当課としてはすべて「c」評価としています。次年度以降も、指定管理者と協議し、新たな情報発信に向けた施策を検討してまいります。

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)

	【千円】					
	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	22,571	20,318	22,758	22,758	22,842	22,842
利用料金	363	172	363	172	240	195

2. 要求事項

年間利用者数	
要求水準	30,000 人
目標	20,953 人
実績	22,336 人

➡③評価項目7と相関

観光資源の開発および魅力発信事業イベント実施回数(年間)	
要求水準	30 回
目標	24 回
実績	24 回

➡③評価項目24と相関

地元産品等の売上げ向上 (対27・28年度平均比10%増)	
要求水準	2,300,000 円
目標	1,500,000 円
実績	1,955,765 円

➡③評価項目25と相関

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	富田林市農業公園	施設所管課	農とみどり推進課
指定管理者名	農事組合法人 富田林市南地区協同組合		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 4 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	b	b
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a
	3 地域との交流が図られている。	a	a
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	a
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	d
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	c	b
	9 苦情への対応が適切である。	b	b
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a
自主事業	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
収支計画	13 自主事業の実施状況が適切である。	c	c
	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
人員配置計画	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	c	c
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	b	b
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	b	b
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	24 別途料金が不要なイベント等の開催状況が要求水準に達している。	b	b
	25 にここ市場の利用者数(レジ件数)が要求水準に達している。	d	d

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	コロナ禍の影響は無視できないが、にここ市場とのさらなる連携強化や新たな取組み等、積極的に入園者数の増加に繋がる対策を実施してください。(令和元年度指定管理業務における改善要求事項の継続)	園内入園者様が入園前又は再入園によりお買い物をされた場合の荷物置き場の設置(現在は入園前の購入では手荷物が増える為に受付内にコインロッカーを設置しているがにここ市場内に検討)
イ	苦情対応は適切との評価であるが、担当課との連携をさらに強化するため、報告書への記載を充実させてください。	連携強化の為、担当課への月次報告票に記載を行います。また、重大案件につきましては都度報告を行います。
ウ	事業報告書について、収支報告の増減理由等を詳細に具体的内容で記載してください。	鋭意努力致します。

⑤評価者コメント

指定管理者	これまでよりも早い時期に次期指定管理者選定の話ができたが、当組合が次期指定管理者への公募に参加不可との話であった為、農業公園の長期的な魅力向上を見据えて実施予定であった取り組みへの投資が出来ない状態であった。事業計画に基づき来園者の満足度向上に取り組んだが、来園者数は厳しい状況となった。
施設所管課	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響が残る中、有料入園者数は39,156人と昨年より12%増となりました。厳しい事業環境が継続しましたが、バラ園の修景工事実施など、公園の魅力向上の取り組み、SNSを活用した広告宣伝の実施などのほか、経費削減にも引き続き取り組みました。第4期指定管理期間で新たに位置づけられた2項目の要求水準については、無料イベント開催等の回数増を図り、にここ市場の地元産品強化の取り組みでレジ件数は若干低下していますが、施設の設置目的を踏まえた指定管理者の努力が認められました。

[参考]

	【千円】					
	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
1. 実績値(直近3ヶ年)	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	97,300	97,300	88,649	88,387	85,766	85,766
利用料金	41,000	17,716	41,100	16,940	41,200	18,431

2. 要求事項

年間交流人口数(有料入園者数+無料入園者数+にここ市場レジ件数)		
要求水準	80,500人+10,000人+69,575件	160,075人
目標	80,500人+10,000人+69,575件	160,075人
実績	39,156人+5,648人+62,998件	107,802人

⇒③評価項目7と関連

入園料以外の別途料金が不要な「イベント」及び「農にふれる体験」
を毎月2回以上開催

要求水準	2回×12ヶ月	24回
目 標	2回×12ヶ月	43回
実 績	4月①、5月⑧、6月②、7月②、8月②、9月③、10月⑤、11月③、12月⑤、1月②、2月②、3月①	36回

➡③評価項目24と相関

にこにこ市場の利用者数(レジ件数)
【対前年比1%増(参考:平成28~29年度 平均比 66858件)】

要求水準	69,575	件
目 標	69,575	件
実 績	62,998	件

➡③評価項目25と相関

●指定管理者業務評価シート(3年目評価)

施設名	富田林寺内町4施設	施設所管課	文化財課
指定管理者名	株式会社アスウェル		
指定期間(年度)	令和2年度 ~ 令和4年度	評価対象年度	令和 4 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	b	b
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	b	b
	3 地域との交流が図られている。	b	b
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	a	a
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	b
	9 苦情への対応が適切である。	b	b
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	b
自主事業	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
	12 自主事業の規模が適正である。	b	a
収支計画	13 自主事業の実施状況が適切である。	b	d
	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	a	a
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
人員配置計画	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	c	c
	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	d	d
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	b	b
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	b	b
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	24 ホームページ年間アクセスカウント数が要求水準に達している。	a	b
	25 歴史・文化等に関する普及啓発事業の年間実施回数が要求水準に達している。	a	b

④改善要求点(2年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	地域の人材や企業と積極的な連携を図り、アドバイザースタッフを活用した行事の開催などの継続的な交流及び事業展開に取り組まれたい。	令和4年4月より、アドバイザースタッフの方々協力のもと、「石上露子忌」「石上露子生誕祭」「旧杉山家住宅茶室見学ガイド付きツアー」「水と旧杉山家住宅」「じないまち燈路 謡の夕べ」「講演会 開発か保存か ~旧杉山家住宅物語~」など多数の事業を行い、また「着物DEじないまち」で人と触れ合い、富田林幼稚園の児童と交流する事業を実施しました。
イ	富田林寺内町の魅力発信を図るため、実施計画の内容を充足し、目標値の達成ができる利用者ニーズを反映した事業展開を図られたい。	「じないまちウォークラリー」「歌声広場」や「雛人形づくりワークショップ」等、昨年度のアンケートや参加人数から好評だったものは継続して取り入れ、健康・美容に関するニーズをふまえた「知って得する健康講座」や子ども向けとして「風鈴づくり」などのワークショップを実施した。年度の終わりに、織田作之助や楠木正成など人気のある人物に関する講演会など内容を充足させた。
ウ	富田林寺内町4施設の適切な管理運営のため、年度収支計画に基づき、予算額との乖離の縮小に努められたい。	毎月15日を目途に収支状況をまとめ、決算額と予算額の乖離が少なくなるよう努めた。人件費については、学芸員の空白期間の影響により予算額との乖離が大きくなってしまったが、その他の項目については、ほぼ予算額に近い形で推移させることができた。

⑤評価者コメント

指定管理者	令和4年度は、これまでの反省点や評価における要求事項をふまえ、管理運営に反映させることができたと考え、評価させていただきました。収支計画についても、予算に近い形で推移させることができ、コロナ禍において利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成したことは、評価できるものと考えます。一方、人材については学芸員退職後、経験年数などの要求事項を満たす方がなかなか応募されず、空白の期間が長く生じてしまった点が課題として残り、学芸業務に影響を与える部分もありました。
施設所管課	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がある程度落ち着きを見せたことから、施設を休館することなく事業の実施が行われており、コロナ禍の影響を考慮した値であるが、施設入館者数や利用料金収入の目標値を達成した。しかし、人員配置については学芸員の不在が長期間続くと、計画と仕様書の水準を下回っており、改善のための意見書を通知し、改善計画書を提出してもらったこととなった。施設の管理については3年目ということもあり、日常点検や修繕の実施などを安定して実施されていたことは評価できる。

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)	【千円】					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	31,606	31,606	31,134	31,134	31,095	31,095
利用料金	3,300	1,831	3,008	2,529	2,547	3,585

2. 要求事項

じないまち交流館 年間入館者数	
要求水準	30,000 人以上
目標	10,900 人以上
実績	19,128 人以上

➡③評価項目7と関連

重要文化財旧杉山家住宅 年間入館者数

要求水準	9,000	人以上
目 標	5,400	人以上
実 績	8,752	人以上

→③評価項目7と関連

ホームページ年間アクセスカウント数

要求水準	1,200	回以上
目 標	30,000	回以上
実 績	47,573	回以上

→③評価項目24と関連

歴史・文化等に関する普及啓発事業の年間実施回数

要求水準	6	回以上
目 標	12	回以上
実 績	19	回以上

→③評価項目25と関連